車いすに乗ってみよう！

５月 23 日（金）に、２年福祉コースは「生活と福祉」の授業で、車いすの介助について学びました。実際に車いすに乗って、介助する側とされる側のどちらも体験しました。介助される立場になってみると、高い段差や傾斜の上り下り、スピードの出しすぎで危険や不安を感じることを実感しました。

〈 感想 〉

・車いすの安全性を確保するためには、操作方法に対する意識が十分に必要だと感じました。

・高い段差では、かなりの力が必要でした。段差を無理に乗り越えようとすると、相手に恐怖を感じさせてしまいます。傾斜では、上るのがつらいだけでなく、下りもスピードが制御出来ず難しかったです。改めてバリアフリーの重要さを実感しました。